

4. 市への意見や要望など

問 市に対するご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。
(自由記載)

現在、郡山市が進めているまちづくり（取組み）についてたくさんのご意見が寄せられました。その中から、主な意見を分野ごとに抜粋し、掲載しました。

寄せられましたご意見につきましては、ここに掲載していないものも含め、今後の市政運営に活用させていただきます。

【分野Ⅰ】産業・仕事の未来（商業・工業・雇用・農林業分野）

【商業・工業】

- ・ 地元産業が人材不足なので、市役所職員に体験してもらい学校等で発信、体験学習等提案してもらおう。(男性・40代)
- ・ 高齢化社会に向かって、企業退職後に新たに起業する高齢者支援の摸索、歳をとってからの起業支援はいかがでしょうか。(男性・50代)
- ・ 企業誘致が少なすぎる。本宮等に流れる前に、西部工業団地で決められるようアピールをお願いします。(男性・40代)

【雇用】

- ・ 所得格差が拡大している昨今、定年後の再雇用、再就職が重要視されます。もっと働ける環境を充実させて欲しいです。(男性・20代)

【農林業】

- ・ 農業は高齢化が進んでおり、田畑を維持するために人に頼んでいる人も多い。荒地にしない為にも、人手の援助や、農業体験の場として利用するなど、何か対策が必要だと思う。(女性・30代)
- ・ 郡山伝統野菜や鯉に力を入れているのは知っているが、実際にどこで売っているのか。普段自分が利用している店ではあまり見かけた事がない。県外への認知度を高めるために、郡山駅内や駅近隣にお店を出店して欲しい（普通のお土産屋ではなく、コンセプトショップのようなもの）。(女性・40代)

【分野Ⅱ】交流・観光の未来（交流・文化・観光・シティプロモーション分野）

【交流】

- ・ 市には3000人弱の外国人がいる。その人たちの出身国別のフェスティバルを定期的に開催してはどうか。彼らの食、文化、音楽、衣装を知る事でその国との友好が深まる。(男性・70代以上)

【文化】

- ・ 「音楽のまち」というテーマは良いと思うが、一般市民がそれを実感できる場が

ほとんどないのはもったいないと思う。日常生活で誰もが音楽に触れる仕掛けを考えて欲しいです。(女性・40代)

【観光】

- ・ 観光名所が少ない。コロナで今は実現できないとは思いますが、名所旧跡をめぐるバスツアー等を行うのも良いかもしれません。(女性・60代)
- ・ コロナ禍でもありますが多くの方に郡山に来てもらえるような観光、イベントなどの充実、郡山の良い所を知って貰うための広報に力を入れて欲しい。(女性・50代)

【シティプロモーション】

- ・ YouTube、SNS 等を利用した動画プロモーションの作製、配信を利用し、交流や観光につなげてみてはいかがでしょうか？(男性・20代)
- ・ 郡山市は、とても魅力的なので、もっともっと知名度が上がり良いイメージが定着して広まって欲しいです。「音楽のまち」のイメージは強いですが、それ以外のイメージがいくつか定まると良いなと思います。(男性・30代)

【分野Ⅲ】 学び育む子どもたちの未来 (子育て・教育・地域学習分野)

【子育て】

- ・ 将来、子育てをしたいと考えているが、今の状況は不安なことが多い。(女性・20代)
- ・ 安心して子どもを産める環境・経済支援が欲しい。生産年齢が子どもは、経済的にも1人か2人が良いと言っている状態。若い世代が2人以上は育てていくのが大変だと感じているため、少子化が止まらないのだと思う。(女性・20代)
- ・ 子ども達が(子ども達だけではないが)安全・安心して暮らせる郡山市にして欲しい。もっと保育所、幼稚園を作って欲しい。子供たちの笑い声・遊び声がいい。子ども達・親の支援はもちろんのこと保育の先生の支援もするべき。子ども・親御さん・先生方の三角関係は大切。(男性・20代)

【教育】

- ・ 英語やICT教育というが、教員は負担が増えるばかりでしっかり子ども達に向き合う時間が減っている。教員に心のゆとりや時間的余裕がなければ、質の高い教育が出来ない。教員の負担を減らして子ども達の事をしっかり考える時間が持てるよう、独自の取組みを行うべき。子育てに優しい都市として人口増加した都市があるが、郡山市もそういったPRをもっとすべき。(男性・50代)
- ・ ICT教育に力を入れることも大切と考えますが、人と人の関わりを大切にしたい。コミュニケーションも忘れてはならないと思います。人としての基になる心づくりを大切にしたい教育が大切かと思います。(女性・60代)

【地域学習】

- ・ もっと農業・商業にふれるチャンスをふやして、将来郡山を出て行かないで地域に根付くように。(女性・60代)

【分野Ⅳ】誰もが地域で輝く未来 (市民協働・生涯学習・保健福祉・男女共同参画分野)

【市民協働】

- ・ 誰もが社会参加できるような器はある程度整っているかもしれませんが、実際、市民が「情報を知って」、社会参加するための「行動をおこしやすい」、環境でないと、一部の人だけにとどまってしまうような気がします。(女性・40代)
- ・ まだまだ郡山市をリードするための若い力がないように感じます。地域全体で若い人を育てるような地域づくりを期待いたします。(男性・30代)
- ・ 一部の献身的な住民により体裁は保たれているが、地域コミュニティは崩壊しつつあると感じている。要因の一つは、アパート、マンションが急激に増え、新しい住民とコミュニケーションが取れない事にある。うまくいっている先進的事例があれば、市民に提出して欲しい。(男性・70代以上)
- ・ マンション、アパートなどが多くなって町内会や地域コミュニティなど隣近所で互いに支え合う環境ではなくなっているように感じる。どんな人が住んでいるのか分からなく、不安に思うこともある。(女性・30代)

【生涯学習】

- ・ 市民が参加出来るイベントなどは、開催して欲しい。一度やったら終わりではなく、毎年参加して定期イベントにして欲しい。(女性・60代)
- ・ 生涯学習や地域活動の広報を強化して欲しいです。知らない方も多くいると思います。自宅から出られない高齢者の方、コロナ禍で外に出ていきたくても出られない方のためのオンラインなどを通して学び、活動の場を作って欲しいです。(女性・50代)

【保健福祉】

- ・ まわりに、新しい家がどんどんでき、若い人たちが多くなった。互いに支え合い、助け合う体制が整うどころか、希薄化している。お互いの立場の尊重と思いやりがなければ何も生まれない。(女性・70代以上)
- ・ 高齢者福祉については、高齢者の独居や老々介護など、通院やよりよいサービスの利用が難しい環境の方もいらっしゃるの、整っているとは言いきれないと思う。(女性・40代)
- ・ 障がいがあっても、生活しやすい町づくりをして欲しい。(男性・40代)
- ・ 青森県のだし活のような健康推進活動をしてよいのではないか。食品企業都市全体の一体感が出る取組みをした方がよい。(女性・20代)

【男女共同参画】

- ・ 男女ともに助け合うは、まだまだではないのかと思います。(女性・40代)

- ・ まだまだ女性の活躍する機会が少ない。(男性・70代以上)

【分野V】暮らしやすいまちの未来(環境・防災・市民安全・生活インフラ分野)

【環境】

- ・ 温暖化がこのまま進むと大変なことになるという危機感が薄いのではないか。(男性・70代以上)
- ・ 3R・エネルギーの点について、一部の民間事業者が実施している「リサイクル・ステーション」を市内の地域各所に設置・周知することで、リサイクルできるものを積極的にリサイクルし、資源の有効活用につながる一助になるのではと考えます。ご検討のほどよろしく申し上げます。(女性・30代)
- ・ 原発事故があった福島県だから、エネルギー問題は関心があります。自然エネルギーや省エネを心がけたいと思います。(女性・50代)
- ・ まちの中に緑地を増やすなど、日常的に癒される環境が欲しいです。子どもは減っていますが、子どもが外で遊べる公園がある所にはあるけれども、比較的少ない。子どもだけで行ける近所の公園的な所をもっと増やして欲しいです。(女性・40代)

【防災】

- ・ 水害は今まで何回も同じ場所で起きている。二度と起きない対策をして欲しい(中央工業団地など)。(男性・60代)

【市民安全】

- ・ 歩道の整備が必要。歩いてみると段差がひどく、車いすやベビーカーに乗った人には、歩きにくい場所が多くある。係の人達は歩行等して実際に歩いて調査も必要かと思います。車道については、安積町などは昔からの道が多く、道幅がせまいところが多くあります。生垣が車道にはみだしている所も多くあり、歩行者が見えない所も多くあります。また、側溝にフタがない所やステンレスの側溝フタは雨の時に歩行者は、すべりやすいので工夫が必要かと思います。(女性・60代)
- ・ ユニバーサルデザインについていえば、点字ブロックをキチンと整備して欲しい。道路工事や上下水道工事のたびにどんどん消滅している。(男性・70代以上)

【生活インフラ】

- ・ もう少し高齢者が街に出やすいように、タクシーの割引や地域バスを復旧させるべき。高齢者が引きこもりになりがち。(特に郊外の方)(女性・30代)
- ・ 郡山駅前周辺がもっときれいに整ってすてきな街になって欲しいです。(女性・40代)
- ・ 空家バンクがもっと活性化するとよいと思う。また、空き店舗をよく見かける。Iに関係するが、いつか空き店舗や古い空家を活用する起業家が来てくれたらうれしい。(女性・20代)

【分野Ⅵ】横断的取組（復興・創生の更なる推進）

【除去土壌の搬出】

- ・ 土壌の撤去は早かったと思う。子ども達には甲状腺検査の連絡が定期的にくるのでよいと思う。（女性・40代）

【健康管理】

- ・ 放射線内部被ばくに関して当時、検査対象とする人へのその後、検査の継続が確実に行われているのか心配です。甲状腺がんの罹患率について福島県の発生率をみると心配ないという報道を聞きましたが、正確な情報提供をして欲しいと思いました。（女性・50代）

【風評の払しょく】

- ・ 風評という言葉を使用しないで、郡山市の食文化の良さを前面にアピールして欲しい。（男性・60代）
- ・ 安全な食や住環境が整っているのに、まだ風評被害がなくなりません。安全性を報道などの手段で積極的に行ってください。（男性・40代）
- ・ 製品の安全性は、野菜だとしたら、パッケージにQRコードを付け、そこから数値が見れるなど分かりやすくした方がよい。（女性・30代）

【分野Ⅶ】基盤的取組（行政経営・セーフコミュニティ・連携中枢都市圏・SDGs）

【行政経営】

- ・ 国政は、報道で理解しているが、市政は、見えにくい。（男性・40代）

【セーフコミュニティ】

- ・ セーフコミュニティについて、毎年冬期には雪による交通の乱れや事故・ケガにつながる危険性がある地域にもかかわらず、およそ対策が講じられていると感じられる場面がほとんど見受けられないと毎年感じます。除雪車の細部地域にわたる出勤、道路をあたためて融雪させる等の設備を充実させる等、暮らしづらい場면을軽減していただくことで基本的な住みやすさが大きく変わってくると考えます。ご検討いただき、積極的に取り組んでいただけますようお願いいたします。（男性・20代）

【連携中枢都市】

- ・ 連携中枢都市圏の中心は郡山市だと思うが、郡山市は周辺市町村へ中心都市としての責任を果たしているのか不明。（男性・50代）
- ・ 特に隣の須賀川市を含めると、空港、駅など交通、物流は県内随一だと思うので、今後も効果的にインフラ整備して欲しい。（男性・40代）

【SDGs】

- ・ SDGsについて、もう2021年なのに、言葉は浸透してきているが、具体的な動

きが弱いように感じます。(女性・40代)

- TVやCMでよくSDGsに関して耳にするが、最近出てきた言葉だがもう少しわかりやすく説明が欲しい。それをすることで何ができるのか？何ができるのか？(男性・30代)
- SDGs…郡山市として(講座ばかりではなく)何を目標とするのかを明確に示して欲しい。(女性・60代)